

22

MINI MINI大作戦【人気No.1のミニホイールブランド編】

O・Zとデュエルの 人気者タッグ

CALL=デュエルAG 052-781-0040 www.duell.jp オーゼットジャパン 053-469-5011 www.oz-japan.com

YouTube

YouTube動画を見よう!

スマホ&iPHONE / 右のQRコードからアクセス。動画一覧から探してご覧ください。
パソコン / YouTubeサイトの検索欄に「BMW MINI BOOK CHANNEL」と入力し「FORGED PRESS BMW MINI BOOK CHANNEL」のチャンネルからご覧ください。



■ TUNING&CUSTOM ミニ・クラブマン・クーパー S オール4

ホイール:OZレーシング レジューラHLT F&R:19×8.0 カラー・グリニョルサブライト/ **タイヤ**:ミシュラン・パイロットスーパースポーツ F&R:225/35R19 **サスペンション**:ブリッツ・タンパーZZR/ **ブレーキ**:JCWブレーキ (カラーチェンジ) **エンジン**:デュエルAG ECUプログラミング/ **エキゾースト**:デュエルAG **カーボンマフラー**:カッター **エクステリア**:デュエルAG フリップスポイラー・サイドスカート・Rディフューザー
インテリア:デュエルAG カーボンステアリング・フロッグ (追加メーターボスト)、デフィーフースト計・水温計、ヘッドライナー・フリップダウンモニター

海

外では、世界中のどんな BMW ミニチューナーよりも人気があるデュエル AG。この F54 クラブマンクーパー S オール4には、デュエル AG の フリップスポイラー・サイドスポイラー・Rディフューザーなどが装着されるが、和風味がなくて海外チューナー製っぽく見えるのは、デュエル AG のセンス。それと O・Z ホイールのデザイン力も効いている。

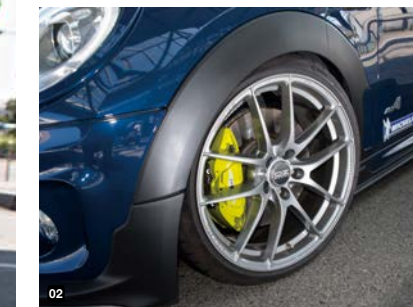
デュエル AG では、レジューラ HLT の 19 インチを 4 輪駆動のクラブマンに選んだ。車体が他の F5X 系より大きなクラブマンには 19 インチがベストなサイズだし、今、世界的に流行している「5 本ツインスポーク (粗メッシュとも呼ばれる)」を組み合わせたら、定番なのに今っぽくカッコよくなるんじゃないか、という狙いから。しかもレジューラ HLT は、フローフォー

ミング製法で作られているため、鍛造なのに鍛造ホイールと剛性の面でも重量の面でも同レベル。さらにキャストでしかできないスポーク形状とイタリアンデザイン、コスト的なアドバンテージもあるとなれば、もうハイパフォーマンス系 MINI にはこれしかないって選択肢だ。だから O・Z って、ミニでは人気ナンバー 1 ホイールブランドなんだネ。

04_デュエルAGのエアロはつや消しブラック仕上げ。カーボンやグロスブラックにしないところが人気の秘密なのかも。
05_一見ノーマルのエンジンルームだが、デュエルAGによるDMEチューニングが施されている。
06_パドルシフト付きのデュエルAGステアリングがよく似合う。
07_アグレッシブな形状のデュアルAGカーボンディフューザー。カーボンのマフラー・カッター付き。



01



01_ブリッツの車高調で一番カッコよく見えるところまでローダウン。キマリすぎ。
02_クラブマンのオール4にはJCWの設定がないので、JCWブレーキを移植。イエローにペイントした。
03_ホイールはレジューラHLT。19インチを選ぶとスポークデザインのバランスが一番よく見える。



04

23 O・Zホイール+MINIはダントツの装着数! 最新・定番・流行の5モデルがスゴい!

CALL=オーゼットジャパン 053-469-5011 www.oz-japan.com

MINI × O・Z WHEEL CLOSE UP 5

カスタムされているミニ、チューニングされているミニを多数見てみると、O・Zのホイールを履いていることが「ダントツ」に多い。そこでO・Zのラインナップの中で、どの製品がミニオーナーに選ばれているのか。中でも人気の5モデルを紹介しよう。

O・Zのホイールは、サイズバリエーションやカラーバリエーションなどは割と少なめで、イベントなどに行くと同じホイールを履いているミニにたくさん出会うが、そうであっても、同じ服を着ている人が隣に来た、的な恥ずかしがないのがオモシロイ。それどころか仲間が同じホイールを履いていると共感すらしてしまう。そうした他のホイールにはない感じが、O・Zホイールの人気につながっている。



Hyper GT-HLT (ハイパージーティー-HLT)×F56JCW
1ピースのフローフォーミングモデル。2018年度の最新コレクションだ。17×7.5～20×8.5 4・5Hに対応する。カラーはスターグラファイトのみ。価格:5万6500円+税



Formula-HLT (フォーミュラ-HLT)×R56JCW
フローフォーミングモデル。4H版は8本スポークとなる。5H版は10本スポーク。17×7.0～18×8.0を設定。カラーはグリジオコルサとマットブラックの2色。価格:5万3000円+税



Leggera-HLT (レッジャーラ-HLT)×R60クロスオーバークーパーオール4
フローフォーミングモデル。定番であって流行のダブル5スポークデザインだ。17×7.5～19×8.5を設定。カラーはグリジオコルサブライト、グロスブラックから選べる。価格:1本5万6500円+税～



Ultraleggera (ウルトラレジェーラ)×R56クーバーS
OZの中で一番人気があって一番知られているモデル。ダブル6スポークデザインだ。16×7.0～18×8.0を設定。4・5Hに対応する。カラーはクリスタルチタニウム、マットグラファイトシルバー、マットブラック、レースゴールド。価格:1本4万6000円+税



Superturismo-LM (スーパーツーリスモ-LM)×F54クラブマン
ルマンレーシングカーに使われていたOZホイールからデザインされたモデル。15本マルチスポークが特徴だ。17×7.0～19×8.5を設定する。カラーはマットグラファイト、マットレースシルバー、マットブラック。価格:1本5万円+税～

O・Z RACING/オーゼットレーシング



スパルコとOZという2つの有名イタリアンブランドのパートナーシップから生まれたコレクション・スパルコホイール。このブランドは、ありがたいなパッチエンジニアリングによるものではなく、OZがスパルコのための専用設計したもの。いわば有名ブランドのダブルネーム

とも言える。

スパルコが2018年にリリースしたモデルは2種類。その中でもボディオは、スパルコホイールで初めて19インチサイズまでをラインナップしたBMWミニ専用とも言えるモデルだから、履けばミニのスタイルリングが一層際立つ。

SPARCO WHEEL LINE UP

CALL=オーゼットジャパン 053-469-5011 www.oz-japan.com



Podio [ボディオ]
2018年度のニューモデル・ボディオ (Podio)。このモデルが開発されたときの一番のターゲットはBMWミニ。つまりデザイン的にもサイズのにもミニ専用みたいなモデルだ。サイズラインナップは17×7.5～18×8.0。5H・112だからF系用だ。カラーはグロスブラックの1色。定価は1本3万6500円+税～5万1000円+税。



Procorsa [プロコルサ]
メッシュデザインのプロコルサは性能を追求するドライバーに最適。サイズは17×7.5J～18×8.5Hを設定する。F56クーバー・クーバーSには17×7.5J、R60クロスオーバー・クーバーS・クーバーSオール4やR61ベースマンには18×8Jが適合。カラーはマットダークチタニウムのみ。定価は1本3万6500円+税～4万7000円+税。



Trofeo [トロフェオ]
トロフェオは2018年度のニューモデル。15インチと16インチの設定ながら、アグレッシブなスポークデザインが特徴だ。15×6.0～16×6.5で、R系のミニにぴったりだ。カラーはグロスブラックのみ。定価は2万6000円+税



Assetto gara [アセットガラ]
アセットガラは10本スポーク。10本スポークはレースフィールドで好まれる設計だ。サイズは17×7.0～18×8.0、4・5Hを設定する。R5X系へは16×7J、R5X系JCWへは17×7が適合。カラーはマットブラックのみ。3万6000円+税



Drift [ドリフト]
JDMスタイルのチューニングカー向けのホイールだが、ミニに向けたサイズも設定する。R5X系には15×6.5～17×7.0を設定。カラーはマットブラック、マットブロンズの2色。定価は2万6000円+税～